

自己評価結果等報告書

令和 8 年 2 月 16 日

1 事業所情報

事業所の名称	一般社団法人みかさの里 チャイルドケアエイトぱれっとぷらす		
事業所番号	4650800073		
事業の種別	☒	児童発達支援	☐ 放課後等デイサービス
所在地	鹿児島県出水市大野原町308		

2 公表状況

公表日	令和	8 年	2 月	16 日
公表方法	☒	ホームページ	(URL	mikasanosato.net)
	☐	会報等	(	)
	☐	その他	(	)

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	橋野 麻起子
連絡先 (TEL)	0996-79-3211

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人 みかさの里 チャイルドケア エイトぱれっとぷらす			
○保護者評価実施期間	令和7年12月12日 ～ 令和8年1月9日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	令和7年12月12日 ～ 令和7年12月26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人一人に合わせて多様な活動のプログラムを提供し、柔軟に対応できています。こどもの状態やペースに寄り添い、最適な支援を行うよう努めています。	まずは楽しく通えるような明るい雰囲気づくりの支援を心掛け、そのうえで、全職員が子ども一人一人の特性にあわせた支援を検討し、実施しています。	子ども一人一人の興味や課題に合わせた、教材などをさらに充実させたいと思っています。
2	園外活動や、親子で参加できるプログラムを多く提供しています。	園外活動を通して社会性や協調性を身につけたり、親子で参加できるプログラムを多く取り入れることで親子のコミュニケーション促進と共同体験を通じた相互理解の深化と楽しい思い出作りになるよう取り組んでいます。	親子で参加できるプログラムや、自由に参観できる場を少しでも多く取り入れていけるよう努めていきます。
3	職員間のコミュニケーションが円滑であり、意見やアイデアの出やすい環境、常に情報共有することで共通理解して支援を行っています。また、療育施設、幼稚園、保育施設での経験の長い職員(管理者・児発管・保育士・児童指導員)が従事しているため、多角的な視点からの支援を実現しています。	職員が連携して子どもの様子を観察し、支援方法を随時相談、見直しをすることで質の高いサポートを実現しています。朝礼、終礼での報告、振り返りの中で気づいたことなどを話しあい、改善点などが出た際には、しっかりと意見を受け止め改善しています。	活動内容、子どもの様子、支援の仕方などを情報共有することで支援を行い、一人一人がコミュニケーション能力が向上するように努めていきます。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の場が少ないところです。(社協の方々、民生員の方々との交流活動、放課後等デイの児童、未就学の児童との関わりは行っている)	少しずつ始めているところではありますが、なかなか取り入れることができていない現状です。	引き続き、地域の方々と交流する機会を持てるように検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 一般社団法人 みかさの里 チャイルドケア エイトぱれっとぶらす

公表日 令和 8年 2月16日

利用児童数

24人(家族2組)

回収数

22

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22					・国の設置基準である広さを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21			1		・国の人員配置基準で定められた職員数を配置しております。また、児童福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に努めております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			3		・事業所内、園庭ともにバリアフリー基準に満たした設備となっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22					・毎日清掃、消毒、換気を行い常に清潔で心地良い空間になるよう心掛けて取り組んでおります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1		1	・言語聴覚士や理学、作業療法士など専門的に支援が受けられる日が週1程度でもあればより子どもの成長が感じられるのかなと思いました。	・一人一人のお子様の特性を理解して職員間で共有しながら専門性のある支援を心掛けております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22					・一人一人の実態を把握して、支援プログラムを作成し、取り組んでおります。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22				・支援計画で、課題ができるようになったことなどわかりやすいです。	・児童発達支援計画は担当職員だけでなく職員全員で話し合いの場を持ち、作成にあたっております。また、保護者の方とは、定期的なモニタリングと面談をし、保護者様との意見交換を行い作成しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21			1		・児童発達支援の項目を選択し、保護者様にわかりやすい言葉、内容で設定し、計画を立て、ご家族の方には計画の説明の際に、ガイドライン項目が記載してある冊子をお見せしながら説明を行っております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22					・児童ひとりひとりに合わせて計画に沿った支援を行っております。また、支援前後のミーティングにて支援方法の確認、情報共有などを行い支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21			1		・児童の特性や年齢に合わせて、また静と動をうまく組み合わせて工夫して行っております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	1		4	・保育園の先生方とも共有してもらえていることがわかり、安心です。	・保育所や幼稚園との交流活動などの実施はありませんが、放課後等デイサービスの児童や、地域の方々と活動をする機会は設けており実際に活動を行いました。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					・契約の際にわかりやすく丁寧に説明を行い、利用者負担などについても書類をお見せして、説明を行っております。また、保護者様にご不明な点がないか確認してご質問などがあればお答えしております。今後も丁寧な説明に努めてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					・児童発達支援の項目を選択し、保護者様に分かりやすい言葉、内容で設定し、計画を立て、ご家族の方には計画の説明の際に、冊子（ガイドライン）をお見せしながら説明を行っております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1		2	・SNSで活動の様子や研修会などの様子が見られるようになり、子どもたち先生方の頑張りが身近に感じられ、より安心して子どもを預けられています。	・ご家族様が参加できる研修会などを行っていくことは今後の課題でもあります。保護者様からのご要望、困り感などを聞き取った中で、それに対し助言させていただいております。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	22				・いつも親身にお話を聞いてくださり、子どもの成長を見守っていただけている安心感がありとても感謝しています。 ・連絡帳や電話で教えていただいています。	・モニタリングやご要望に応じて面談も行っております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21			1	・定期的に面談があるので困りごとを相談してそれに沿った活動をしていただけてありがたいです。 ・いつも親身になって親、子どもの希望に沿った支援をしていただきありがとうございます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22					・一人一人のお子様の言動、行動に丁寧に寄り添いながら共感し支援をさせていただいております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19		1	2	・個人面談でも家庭の都合上どうしても下の子が一緒になる時でも配慮していただきありがたいです。	・親子交流会を5月、7月、10月、3月（予定）に行っておりまして、保護者会も12月に行いました。来年度も、引き続き感染症などには十分留意しながら、保護者会や交流会を開催できたらと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			1	・質問や疑問に思っていることにもしっかりと対応していただいています。	・相談、連絡などがあった際には、迅速に状況把握、説明を行えるよう体制を整え実施しております。 ・相談体制について周知に努めていくとともにより良い方法を検討してまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22				・連絡帳やサインが必要な書類が電子化すると対応しやすいと思います。	・電話、連絡帳、送迎などの際にも、お伝えできるよう努めております。また、児童に対しては、その日に取り組む教材が視覚的にわかりやすいよう配置するなど取り組んでおります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22				・活動の様子はとても丁寧に連絡帳へ記入されており、SNSへも活動風景を投稿してくださるのでとても分かりやすく、いつも楽しみに拝見させていただいています。	・活動概要や行事予定などは毎月予定表を配布しております。 ・日々の様子につきましては、SNSを活用しております。 ・法人のホームページにて自己評価を公表しております。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22					・個人情報の取り扱いについては入職時に周知徹底しております。また、個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しており、持ち出しなどが無いよう周知徹底しております。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21			1		・それぞれのマニュアルを策定し、周知しております。訓練も定期的に行い、園だよりなどで報告しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22					・非常災害の発生に備え、月に1回避難、救出、その他必要な訓練を実施しております。その訓練のうち、年に1回は消防署員の立ち合い、救急救命指導なども行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22					・引き続き十分な告知を行い、安全の確保が十分に行われた上で支援を行ってまいります。
満足度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			1	・すぐに連絡をいただけてありがたいです。	・けが、事故などが発生した際には、速やかな連絡、状況説明を行うよう心がけております。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22				・とても満足しています。これからよろしくお願ひします。 ・「今日は、もう遅いからばれっとぶらすはおやすみな」と言っていると、「嫌だ、休まない」と言います。ばれっとぶらすが好きなので、「今日はなかなか朝起きてくれないので、「今日はばれっとぶらす行かないんだね」と言う「行く」と言って起きてきます。 ・連絡帳やインスタでの様子で日頃の生活を知れて、ニコニコしているのが見られています。	・ご満足していただけますよう、より一層努力してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22					
	29	事業所の支援に満足していますか。	22					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		一般社団法人みかさの里 チャイルドケアエイト ぱれっとがらす		公表日		令和 8年 2月16日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・規定に基づき利用定員に応じたスペースを確保しています。・2クラスに分けて支援を行うことでより十分なスペースを確保できています。 ・室内あそびの際には、ぶつからないように配慮、状況によって変更しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・規定数の職員に加え、有資格者を配置しています。・こどもの人数と状況に合わせて職員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・一日の流れがわかりやすいよう、ホワイトボードを使用し、イラスト、絵カードなどを活用することで視覚情報を環境設定でしっかり行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・机や本棚は活動内容にあわせて設置しています。・毎日の掃除、消毒を徹底して行い、清潔に心地よく過ごせるよう環境を整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・子どもの状態に合わせ、情緒が落ち着かない際は、個別の部屋を利用することで落ち着いて過ごすことができるように対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・朝礼でその日のねらいや配慮についての確認、終礼にて振り返りを行い、現状把握、課題抽出、業務改善を図っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者様の評価をしっかりと把握、職員で周知し、改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・朝礼、終礼で意見を言える機会を設け情報共有、意見交換を行っています。また、職員同士で意見を言いやすい環境となっています。・職員面談もあり、その中で自分の意見を伝えることができる場があります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現在は、第三者の評価は受けていませんが外部（見学者・訪問者など）からの意見などをいただいた際にその意見を改善の参考にさせて頂いています。	第三者評価については今後の検討課題です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・事業所内、法人内で研修を実施しています。・研修案内を周知し、参加希望をとっています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・一人一人の実態を把握して、職員間で共有、検討を行い、支援プログラムを作成しています。ホームページに掲載しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・定期的に保護者様と面談を行ったり、相談支援員や園の先生との情報共有、収集を行いニーズや課題を分析し計画作成を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員の意見を聞いて情報収集を行い、共通理解のもと一人一人に応じた支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画作成後は、職員間で共有し計画に沿った支援ができているかミーティングで報告、振り返りをしながら実施しています。	

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・日々のこどもの成長や変化を確認しています。 ・他機関で行われた検査結果等を保護者様と共有しています。 ・保護者様、相談支援員、園の先生などからの情報と日々の支援などから状況を把握するよう努めています。	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・日々の支援やモニタリングを通して保護者の方からのご意見やご要望を伺い、ガイドラインに基づいて計画を作成し、具体的な支援内容を設定するよう努めています。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・一人一人が支援の内容を考え、それについてチームで意見を出し合って活動プログラムの立案を行っています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・様々な活動が特性や年齢に合わせてバランスよく取り入れられるよう、月単位で決めています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの特性や状況に応じて作成し、支援を行っています。 ・交流などの活動も取り入れ、異年齢での活動もできるようにしています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼で打合せを行い、気づいたことなど報告、共有しチームで連携した支援ができています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・ノートに記録しているため、休みの日でも次の出勤時にこどもの状況がわかり、また振り返りや共有を行っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・一人一人の支援時の様子を記録し、改善につなげるようにしています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・モニタリングを定期的に行い、職員ミーティングで共有し、検証を行い改善につなげています。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・理解した職員が参画しています。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保健師さんや園の先生などとの話し合いの機会を設けています。 ・協力医療機関等、体制があります。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・移行に向けた支援を行っています。情報共有、相互理解はしっかり図れています。 ・成長や地域生活のスムーズな継続の視点で行っています。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学相談に参加し、情報共有・相互理解を図っています。 ・成長の過程と現状、見通し等、伝え合い、共有・理解を図っています。	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・こども療育センターなどを受診したり、発達検査などを受けたりした場合に保護者様同意のもとと共有させていただいたり、児童発達支援での様子などの意見書を提出させていただいています。また、地域向けの研修が実施されるときは、参加するよう取り組んでいます。	

32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・保育所や幼稚園との交流の場というのは設けておりませんが、放課後デイの児童や、他事業所の未就学児の子どもたちとの交流を行い、関わる機会を設けています。	・地域の中で他のこどもと活動する機会に関しては、保護者の方のご意向を聞きながら進めていけたらと思います。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳や電話連絡で保護者とのやりとりを行い、共通理解を図れるように努めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者からの相談、困り感などをお聞きした上でそれに対し取り組み方や方法について助言などさせていただきます。 ・外部の講演会のお知らせなどさせていただきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時や内容の変更の際に、わかりやすく丁寧に説明しています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・契約時や、面談時などに子どもと保護者の意向を確認し、計画書を作成し、支援計画について丁寧な説明を心がけ保護者に理解していただいた上で同意を得ています。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画書を提示しながら、支援内容などについて説明し、同意を得ています。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談、連絡があった際には、必要に応じ面談を行ったり、園や家での様子、悩んでいることや気持ちを聞き、今後につながるように話をしています。	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・親子行事の際に、保護者会も行ったり、保護者会のみを行うことで、交流できるような場を設けています。また、きょうだい同士の交流も夏祭りや運動会などのゲームや競技内容で交流する場を設けています。	・引き続き、開催時期や内容、きょうだい同士の交流なども検討していきながら実施したいと思います。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・速やかに日程調整や場の確保を行っています。 ・要望に応じてモニタリング以外にも話を聞く時間を設けています。	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・日々の子どもの様子につきましては、SNSにて発信しています。また、月に1回通信を発行し活動内容や、行事予定をお知らせしています。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の取扱いについては、職員の入職時に説明、同意を得ています。また、日頃から周知徹底を行い書類の保管はしっかりと施錠し、管理しています。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・子どもの特性に合わせ、言葉で伝えるのが難しい場合は、表情カード、絵カードなどの視覚的ツールを使用したり、行動を読み取る、個々の意思表明の仕方を職員が理解するなど相互の伝達方法に配慮しています。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	○		・地域との連携を図り、社協の方や、民生員の方々に来ていただいて、昔ながらの玩具を作ったり(竹とんぼ)遊んだりして交流を図りました。 ・見学を受け入れ、適切に対応しています。	
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルを策定し、説明、確認を行っています。また、訓練に関しては定期的に訓練を行い、訓練の様子をSNSや通信にてお知らせしています。	
46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、定期的な内容の確認や変更・火災や地震等、想定される被害に応じた避難経路での訓練を定期的に行っています。	

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に確認しています。途中から服薬が開始になったり、病院受診があった場合には、報告をいただいたり、確認をするなどして把握するように努めています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者から情報を頂き、医師の指示書に基づいて発作の際の対応ができるようにします。	・現在アレルギーをお持ちのお子様は利用なさっていません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を策定し定期的に知識、技術の向上を目的とした職員研修、訓練を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・月1の通信や、SNSなどで周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事例があった際には、職員間で共有、検討し、再発防止に努め、未然に自己を防ぐことができるよう改善を図っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止の研修に参加し必要な知識を得ています。また、常日頃虐待に値しないか振り返りを行いながら適切な対応を心掛けています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束適正化委員会を設置し、身体拘束の必要性などを検討する場を設けています。また、法人内で研修を行っています。	・マニュアルを策定し、組織的に決定しています。身体拘束適正化については常に問題はないのかという意識を持ち組織全体で取り組む姿勢をもっています。また、現在は対象者がいないため今後必要になった際は、しっかりと説明を行い、了承を得たうえで計画書に記載したり、記録を残すよう対応していきます。